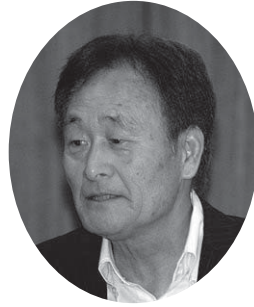


問 通勤圏拡大に向けた割引券の考えは

答 長野線中条トンネル割引券を検討



太田修議員

【人口確保と活性化策について】

問 人口確保策は。

村長 若者や家族持ちの方が安定して働ける雇用の受け皿が不足しています。人口確保策の鍵は通年雇用の場の創出が必要で、宿泊施設や観光関係事業者が元氣を取り戻すことが重要です。また、子育て支援などにつながる施策の研究・検討を行っています。

問 通勤圏拡大に向けた長野市中条の有料トンネル割引の検討は。

副村長 県からの要請もあり、村民割引券を検討中です。

問 国が進める新少子化対策の検討は。

村長 地域少子化対策強化交付金は危機的な少子化問題に対応するため、結婚から妊娠、出産、子育てを一貫した切れ目のない支援を行うもので、広範囲な事業であり困難と判断しました。今後、新たな少子化対策への補助制度の可能性も高いと考え情報収集に努めます。

問 訪問支援や相談窓口等の充実は。

村長 未就学児は、本年4月より新たな児童福祉対策として体制を整備し、「子育て相談支援センター」で行っています。相談業務は子育ての悩みや、内容により教育相談、専門職員を交えた個別支援等を行い、地域包括支援センターは、住み慣れた地域で生活できるような相談・支援を行っています。

【景観形成・環境保全等について】

問 農地法第4条（農地転用）・第5条（所有権の

移転等及び農地転用）申請件数と外国人申請件数は。

村長 第4条関係3件、第5条関係では外国人1件を含む11件です。

問 申請地の現地確認や調査及び巡回数は。

村長 地区担当の農業委員と事務局の農政課職員が申請地の状況確認を行い、地方事務所農政課と事前に協議をしています。巡回は年1回の農地パトロールと農政課による経営所得安定対策業務のなかで、村内一円の農地を巡回し確認・調査をしています。

問 白馬村景観形成重点地域指導基準の指導と新築及び既存施設の改修等への指導は。

村長 村は平成5年に長野県景観条例に規定された「景観形成重点地域」の指定を受け、白馬村景観形成重点地域指導基準を策定しました。一定規模以上の建築物や工作物を建てる際に、建築面積や高さ、隣地や道路からの後退距離などの基準を定めた趣旨に沿い、村の貴重な

財産である山岳・自然景観に建築物を調和させる目的で指導・助言しています。新築の際は設計段階での相談等を行っています。また、条例に基づく事前届出時は、基準に適合するかを含め指導しています。既存建物の増改築は床面積20㎡以上で、屋根、外壁面積25㎡を越える際に基準に基づき指導・助言をします。一部には理解をいただけないケースや、最近外国人による申請件数も増



割引券は役場総合窓口で発売されるようになりました

問 開発と環境保全・景観形成に対する村の考えは。

答 観光を経済基盤とする村にとって、開発は切り離せない問題であり、環境条例や開発指導要綱等に基づき、無秩序な開発防止に努め、景観や自然環境と調和した開発の推進に取り組まします。